

令和5年度も、校長室から日頃の「雑感」をお届けいたします。昨年度は沢山の生徒の皆さんに校長室に来ていただきお話を伺うことができました。今年度も、感想や談話等の内容を掲載させていただく予定ですので、ご覧いただけましたら幸いです。

One for all, All for one. No.16

R5. 5. 2 「テニス部が快挙！」

テニス部が春季大会において見事「団体優勝」の栄誉を掴み取りました。お昼休みに、活躍した5名の皆さんから話を伺うことができました。

3年生主将の伊藤 優翔君とダブルスを組んだのは、同じく3年生副将の小松 瑠玖君。二人は1年生から苦楽を共にしてきた気心の知れたチームメイト。20名の部員が在籍する大所帯の中で3年生はこの二人だけです。優しさの中にも揺るがない芯を持つ二人だからこそ、この素晴らしいチームを創り上げてこられたのでしょう。

2年生の戸嶋 悠人君は小2からテニスを始めたという実力者。テニスの魅力に惹かれて以来、スポーツと言えばテニス一筋。そんな戸嶋君でもやはり試合前は緊張するらしく、直前に音楽を聴いてリラックスするそうです。

2年生の今井 朝陽君と1年生の今井 陽貴君は兄弟でダブルスを組み見事優勝。普段は喧嘩をすることもありますが、試合になると相手に立ち向かう息はぴったり。この二人は何とシングルス準決勝でも対戦し、結果、朝陽君が優勝、陽貴君が3位に輝きました。ハードトレーニングにも耐える二人の試合は、さぞエキサイティングだったことでしょう。



夏の大会への抱負は、「悔いを残さない試合をすること」「絶対勝つ」という気持ちを持ち続けること。話していても清々しいこの面々の活躍を心から楽しみしています！

One for all, All for one. No.17

R5. 5.10 「宗祖降誕会」

浄土真宗の開祖親鸞聖人のご誕生をお祝いする「宗祖降誕会」の法要を執り行いました。4月のお釈迦さまご誕生をお祝いする「花まつり」に続いて、全校生徒が一堂に会しての法要となりました。



藤平教諭が法話の中で親鸞聖人の生涯についてお話してくださいました。法然上人との出会いに始まり、己の考えを深化させていく親鸞聖人の生き様に触れることで、改めて仏教の真髄を感じ取ることができます。

極楽浄土は自らの力で叶えられるものではなく、阿弥陀仏の力によって叶えられるものという「他力」の教え、つまり、阿弥陀仏がすべての人間を往生させてくださる教えのことを「専修念仏」と言うそうです。

今年は親鸞聖人ご生誕から850年目にあたります。悠久なる歴史を少しでも紐解いていく中で、不変なる人間のあるべき姿を垣間見ることができるかもしれません。

R5. 5.10 「生徒総会」

新たな生徒会総務役員の皆さんが中心となり、令和4年度の決算報告及び令和5年度の予算（案）について話し合う生徒総会が体育館にて行われました、生徒会会計担当者からの丁寧な説明を受け、すべての案件が承認されました。

また一昨年の生徒会総務役員が作成してくれた「いじめ根絶宣言」を、副会長の本村 啓州君が読み上げ、いじめのない学校を継続していくことを誓い合いました。

より良い学校づくりには、教職員だけでなく、生徒の皆さんの力が不可欠です。一人一人が自らの高校生活を充実させられるよう、何事にも主体性を持ち前向きに取り組んでくれることを期待しています。今年度も実り多い生徒会運営を願っています！



R5. 5.10 「壮行会」

今年もいよいよ高体連支部予選会の季節となりました。各団体の主将が体育館壇上で今大会にかける決意表明をし、呼応し大きな応援の拍手が贈られました。



来週早々には、陸上とテニスを皮切りに様々な施設で熱戦が繰り広げられます。3年生にとっては高校生最後の大会となる種目も多いだけに、選手の皆さんには日頃の練習の成果を存分に発揮し、悔いの残らない試合をしてきて欲しいものです。

結びに、安藤教頭先生と生徒会長の元山 唯さんから温かな激励の言葉が贈られ壮行会を終了しました。

R5. 5.11 「合同企業説明会」

あさひかわ合同企業説明会実行委員会主催の説明会がアートホテルで開催されました。多種多様な企業約85社がブースを構える大イベントです。本校からも就職希望者を中心に29名の生徒が説明会に参加してきました。事前に興味・関心のある4社を選び、会社概要や求める社員像、就職試験に合格するための秘訣などを学んできました。

本校では、これまでも同様のイベントへの参加や実際の企業を学校に招いての説明会などを計画的に行ってきました。生徒にとっては一生に関わる大切な進路だけに、よく中身を知った上で選択してもらうことを主眼にしています。

就職希望者にとっては採用試験まであとわずかしかありません。一日一日のこうした主体的体験活動の積み重ねが最終的に合否を分けることとなります。

こうした外での貴重な体験は、学校とはまた異なる成長を促します。今後も各学年に適した進路関係の取組を実践していきます。



R5. 5.11 「関西音楽コンクール」



嬉しいニュースが舞い込んできました。吹奏楽部2年生の野原 桜生君がコンクールの中でも難関と言われる「関西音楽コンクール」本選にパーカッションパートの部で出場することが決まりました。

先月行われた照曜コンサートでもパーカッションのソロ演奏を披露し、高度な技術でいきなり聴衆の度肝を抜きました。

また、入学式退場時の伴奏をドラムだけで行い、その見事な演奏は式典に華を添えました。

野原君が音楽に関心を持ったのは小学6年、そのことがきっかけで中学では吹奏楽に入部。力の加減や手の動きがそのまま音質につながり、アレンジすることで音の世界が際限なく広がっていくパーカッションの魅力に取りつかれていったそうです。

「本選では、龍谷特有の力強いサウンドを繊細で緻密なテクニックと掛け合わせて演奏してきます。」と、誠実に頼もしく応えてくれた野原君を心から応援します！